

2005年7月19日

各 位

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
アステラス製薬株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイムとアステラス製薬

国際シンポジウム「心血管イベント抑制への新たなる挑戦

“A New Dawn in Cardiovascular Protection”」を共同で開催

- 日本から世界へ向けて心血管イベント抑制の重要性を発信 -

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（社長：大澤昭夫、本社：兵庫県川西市）とアステラス製薬株式会社（社長：竹中登一、本社：東京都中央区）は、共同販促するアンジオテンシン受容体拮抗薬「ミカルディス®」の学術研究や大規模臨床試験などを通じて、心血管疾患のイベント抑制につながる活動に積極的に取り組んでいます。両社はその一環として、7月17日（日曜日）、18日（月曜日）に、世界のトップオピニオンリーダーを招き、「心血管イベントへの新たなる挑戦 “A New Dawn in Cardiovascular Protection”」と題した国際シンポジウムを開催しました。このシンポジウムには、アジアを中心に世界16か国から約700名が参加しました。心血管疾患のイベント抑制に関する最新の知見や最先端の学術研究の成果が講演で披露され、更にパネルディスカッションでは日本での現況も交えて積極的に討議されました。

この国際シンポジウムのセッションで座長、演者として招かれた藤田教授*¹、マンシア教授*²、ザウ教授*³を始めとする先生方は、心臓、腎臓、糖尿病など各領域における各国の専門家であり、世界でも有数の研究者として知られています。17日は「心血管疾患の進展とその予防 “Prevention of outcomes along the cardiovascular continuum”」、18日は「メタボリックシンドロームを伴う高血圧患者と腎障害の関係 “The hypertensive metabolic patient and the implications of the cardiorenal connection”」をテーマとしたものでした。それぞれ2つのセッション、合計4つのセッションから構成され、心血管イベント抑制への可能性について様々な観点から活発に議論されました。

国際シンポジウム「心血管イベント抑制への新たなる挑戦」の内容

7月18日：「心血管疾患の進展とその予防」

- セッション 1

- Total cardiovascular risk: a new treatment concept
- Targeting the pathophysiological initiators of the CV continuum: opportunities and challenges
- Early lifestyle intervention and prevention of myocardial infarction

- セッション 2

- Circadian rhythm of blood pressure and the relation to cardiovascular events
- Prospects for the prevention of stroke
- Hypertension treatment and implications of recent cardiovascular outcome trials

- キーノート

- An outlook to the ISH 2006: Global challenge for overcoming high blood pressure

7月19日：「メタボリックシンドロームを伴う高血圧患者と腎障害の関係」

- セッション 3

- Risk constellations in metabolic patients: epidemiology, diagnosis and treatment patterns
- The aetiology of the metabolic syndrome
- The diabetic obese patient: from research targets to treatment options

- セッション 4

- New treatment strategy for hypertensive patients with insulin resistance
- The heart and the kidney: fatal twins?
- Prevention of loss of renal function over time in patients with diabetic nephropathy

世界における心血管疾患による死亡者数は、年間 1,700 万人と死因の第 1 位であり、その治療と予防対策はきわめて重要です。死亡率を減少させることは、循環器領域での 21 世紀最大の課題のひとつと考えられています。心血管疾患の研究が進む中、心血管イベントの発症リスクが早朝に高まることや、メタボリックシンドロームでは、そのリスクが何倍も高まることわかってきました。心血管イベント抑制には、そのリスク要因を取り除く高血圧治療薬、高脂血症治療薬、糖尿病治療薬などがあります。近年、高血圧治療薬のアンジオテンシン 受容体拮抗薬が降圧効果に加えて臓器保護作用に関する臨床試験研究結果が多く報告されており、ひいては心血管イベント抑制につながると期待されています。

「ミカルディス®」は、日本ベーリンガーインゲルハイムが製造し、アステラス製薬が販売を行い、両社で共同販促している 1 日 1 回投与の高血圧治療薬です。本剤は、アンジオテンシン 受容体拮抗薬（通称「サルタン」）の中でも血中濃度半減期が約 24 時間と他剤に比べ長く、24 時間にわたって持続的な降圧作用を発揮し、脳心血管病発症リスクが高まる早朝の血圧を良好にコントロールします。また、ほぼ 100%胆汁中に排泄されることから、腎障害を合併する高血圧患者への投与にも使用しやすい特徴を併せ持ちます。なお、現在発売されているサルタンの中で「ミカルディス®」が唯一、ほぼ 100%胆汁中に排泄される薬剤です。

「ミカルディス®」は現在、米国、ヨーロッパ諸国など世界 70 以上で発売され、順調に売上を伸ばしています。市販後の研究も幅広く進めており、現在進行中の臨床試験には 53,000 人以上の被験者が登録されています。サルタン史上最大規模の ONTARGET™ 臨床試験プログラムをはじめ、PRoFESS®試験そして PROTECTION™ 臨床試験プログラムは「ミカルディス®」が心血管疾患の死亡率と罹患率の減少、脳卒中予防そして臓器障害に与える影響をグローバルで検討しています。PROTECTION™ 臨床試験プログラムの第一弾、腎保護効果を検証する DETAIL 試験の結果は、2004 年の医学誌「ニュー・イングランド・ジャーナル・オブ・メディスン (NEJM)」に掲載されました。今後も順次、「ミカルディス®」の主要な試験が終了し、エビデンスが増加することになります。

- * 1 藤田敏郎: 東京大学大学院医学系研究科内科学教授 (日本)
- * 2 ジュゼッペ・マンシア: ミラノ ビコッカ大学内科学教授 (イタリア)
- * 3 ビクター・ザウ: デューク大学学長兼保険システム CEO (米国)

お問い合わせ先:

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
広報部エクスターナルコミュニケーションズ

Tel.03-5280-7145

Fax.03-5280-1133

会 社 概 要

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 (www.boehringer-ingenelheim.co.jp)

Nippon Boehringer Ingelheim Co., Ltd.

設 立	1961 年 6 月
本 社 所 在 地	兵庫県川西市矢間 3 - 10 - 1
代 表 者	社長 大澤昭夫
売 上 高	約 851 億円 (2004 年 1-12 月)
従 業 員 数	1,699 名 (2005 年 1 月 1 日現在)
事 業 内 容	・ 医薬品の研究開発、輸入、製造、販売 ・ 医薬品原末および中間体などの輸出入、販売

ベーリンガーインゲルハイム (www.boehringer-ingenelheim.com)

Boehringer Ingelheim GmbH

設 立	1885 年
所 在 地	ドイツ連邦共和国 インゲルハイム
代 表 者	取締役会会長 Dr アレッサンドロ・バンキ (Alessandro Banchi)
売 上 高 (連 結)	81 億 5,700 万ユーロ [約 1 兆 1000 億円] (2004 年 1-12 月)
連 結 従 業 員 数	約 36,000 人
事 業 内 容	医療用医薬品、コンシューマーヘルスケア製品、動物薬、 バイオ医薬品、化学品等の研究・開発、製造、販売
関 連 会 社	世界 45 カ国、約 150 社

アステラス製薬株式会社 (www.astellas.com/jp)

Astellas Pharma Inc.

発 足 日	2005 年 4 月
本 社 所 在 地	東京都中央区日本橋本町 2 - 3 - 11
代 表 者	代表取締役社長 竹中 登一
売 上 高 (連 結)	8,620 億円 (2005 年 3 月期:旧山之内製薬、旧藤沢薬品工業の連結売上高を単純合算)
連 結 要 員 数	約 15,500 人 (2005 年 4 月 1 日)
事 業 内 容	医療用医薬品の製造・販売および輸出入など